宮城県感染症発生動向調査情報(第2週)

宮城県【平成27年01月15日】発行
宮城県保健環境センター　　－ 2015.1.5 ～ 1.11 ・ 第2週 －
TEL (022)257-7228

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾　病	保健所 仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市 患者数	宮城県(含む仙台市) 患者数	累計	第51週	第52週	第1週	第2週
水痘	10 2.00	15 1.50	7 1.40	1 0.50	2 0.67	1 0.20		25 0.96	61 1.05	97	◎ →	◎ →	○ →	○
流行性耳下腺炎				1 0.50	2 0.67	2 0.40		8 0.31	13 0.22	19	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	50 10.00	80 8.00	27 5.40	21 10.50	39 13.00	32 6.40	24 12.00	268 10.31	541 9.33	753	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病		2 0.20					2 1.00	4 0.15	8 0.14	19	→	→	→	
伝染性紅斑	19 3.80	5 0.50	8 1.60			8 1.60	2 1.00	48 1.85	90 1.55	116	◎ →	◎ →	○ →	○
突発性発しん	2 0.40	7 0.70	1 0.20	2 1.00	2 0.67	3 0.60	1 0.50	15 0.58	33 0.57	45	レ →	○ →	レ →	○
ヘルパンギーナ								1 0.04	1 0.02	1	→	→	→	
インフルエンザ	293 36.63	332 22.13	240 30.00	64 21.33	138 27.60	393 49.13	93 23.25	1207 28.74	2760 29.68	3,900	◎ →	◎ →	◎ →	◎
咽頭結膜熱	1 0.20	4 0.40		1 0.50	1 0.33			9 0.35	16 0.28	18	○ →	レ →	→	
流行性角結膜炎								1 0.17	1 0.08	1	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		21 2.10	4 0.80	2 1.00	1 0.33	15 3.00	1 0.50	52 2.00	96 1.66	117	◎ →	◎ →	レ →	○
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
ﾏｲｺﾌﾟﾗｽﾞﾏ肺炎			2 2.00	3 3.00			4 4.00	4 0.80	13 1.08	14	→	→	→	
ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎(ｵｳﾑ病は除く)											→	→	→	
RSウィルス感染症	7 1.40	20 2.00	5 1.00	5 2.50	6 2.00	4 0.80		40 1.54	87 1.50	117	◎ →	◎ →	○ →	○
拡張疾病 マイコプラズマ肺炎(小児科)			1	2	1	1	2	5						
拡張疾病 川崎病														
拡張疾病 不明発疹症														
感染性胃腸炎(ロタウイルス)※				1					1	57				

◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意
○：発生または流行について、今後の情報に留意
レ：発生が少なくなっている傾向

【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧下さい。
http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

今週の全数報告疾病

※男児、女児は6歳未満

1類感染症：報告なし
2類感染症：結核
　塩釜管内　男性1名
　大崎管内　女性1名
　石巻管内　男性1名、女性1名
　仙台管内　男性3名、女性1名
3類感染症：報告なし
4類感染症：レジオネラ症
　仙台管内　女性1名(第1週)
5類感染症：アメーバ赤痢
　仙台管内　男性1名
　後天性免疫不全症候群
　仙台管内　男性1名
　侵襲性インフルエンザ菌感染症
　仙台管内　男性1名(第1週)
　侵襲性肺炎球菌感染症
　仙台管内　男性1名(第1週)

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告)　56例

今週の感染症のコメント
－宮城県感染症対策委員会情報解析部会－

[伝染性紅斑]
仙南、石巻管内で警報継続中。

[インフルエンザ]
仙南、大崎、仙台管内で警報継続中。
石巻管内で警報値を超えた。
登米、気仙沼管内で注意報継続中。
塩釜、栗原管内で注意報値を超えた。

【病原体検出情報】
～保健環境センター～
感染性胃腸炎患者より

塩釜管内	第50週採取分	サポウイルス	1件
	第51週採取分	ノロウイルスGⅡ	3件
		サポウイルス	7件
気仙沼管内	第51週採取分	ノロウイルスGⅡ	2件
	第52週採取分	ノロウイルスGⅡ	1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第52週採取分 (12.22～12.28)	第1週採取分 (12.29～1.4)	第2週採取分 (1.5～1.11)
RSｳｲﾙｽ	2件	0件	0件
ｱﾃﾞﾉｳｲﾙｽ	2件	0件	0件

[インフルエンザ]
先週に比べ患者報告数が急増し、仙南、大崎、仙台管内に加え石巻管内でも警報値を超えました。学校等の冬季休業も終了し、流行の拡大が懸念されることから、うがい、手洗い、マスクなどで予防に努めるとともに、今後のインフルエンザの発生動向に十分注意してください。

[感染性胃腸炎]
例年の同時期に比べ患者からのサポウイルスの検出が目立っております。継続的な検出が見られていることから今後も注意が必要です。

インフルエンザ関連情報　(患者報告年齢群別割合)

報告週＼年齢群	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2014年　第50週	11.8	33.0	32.6	4.4	2.0	6.7	4.2	2.3	1.5	0.9	0.7	688
第51週	9.1	36.9	32.1	5.0	3.3	4.8	4.1	1.9	1.5	0.9	0.3	1549
第52週	14.3	30.7	25.6	5.2	5.1	6.5	5.1	3.6	1.8	1.3	0.8	2382
2015年　第 1週	19.6	18.9	12.5	6.1	11.6	11.4	7.2	5.7	3.2	1.6	2.3	1140
第 2週	23.6	18.8	10.7	4.4	9.1	9.1	9.4	7.0	3.8	2.2	1.9	2760

インフルエンザ定点
インフルエンザ定点とは、小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で93定点(県:51、仙台市:42)となっています。

定点把握の対象となる5類感染症(全国　第51週)　　(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ：定点当たり報告数は第43週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は埼玉県(35.38)、北海道(25.95)、岩手県(24.73)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は366例と前週と比較して増加した。都道府県別では44都道府県から報告があり、年齢別では0歳(25例)、1～9歳(99例)、10代(31例)、20代(4例)、30代(11例)、40代(15例)、50代(12例)、60代(25例)、70代(62例)、80歳以上(82例)であった。**RSウイルス感染症**：報告数は7,491例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約66%を占めている。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**：定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では福岡県(6.19)、鳥取県(5.00)、石川県(4.86)が多い。**感染性胃腸炎**：定点当たり報告数は第46週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は鹿児島県(25.91)、宮崎県(24.14)、大分県(20.75)である。**水痘**の定点当たり報告数は第39週以降増加が続いている。都道府県別では鹿児島県(2.29)、山形県(2.23)、福井県(2.14)が多い。手足口病：定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では愛媛県(3.73)、高知県(3.13)、沖縄県(2.56)が多い。**マイコプラズマ肺炎**：定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では富山県(1.40)、青森県(1.17)、秋田県(1.13)が多い。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**：定点当たり報告数は第47週以降増加が続いている。20都府県から42例報告があり、年齢別では0歳(6例)、1～4歳(31例)、5～9歳(3例)、60代(1例)、70歳以上(1例)であった。
＊全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000 カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000 カ所)、眼科定点(約600 カ所)、基幹定点(約500 カ所)の集計結果です。( )内数字:定点当たり報告数